

清水かつら記念

# 第21回 日本歌曲 歌唱コンクール

【主催】 公益財団法人和光市文化振興公社/和光市

【主管】 公益財団法人和光市文化振興公社

【後援】 埼玉県/埼玉県教育委員会/和光市教育委員会

日本歌曲振興波の会/一般社団法人日本童謡協会/埼玉県合唱連盟

公益社団法人日本演奏連盟/NHKさいたま放送局/埼玉新聞社

和光市白子文化の会/ALPHA JAPAN sports shop

国立音楽大学/洗足学園音楽大学/武蔵野音楽大学

跡見学園女子大学/尚美学園大学

清水かつら記念

# 第21回 日本歌曲 歌唱コンクール

## 募集要項

応募締切日 2026年6月21日(日) 17:00必着

予選審査会 7月上旬 【非公開】

本選審査会 8月22日(土) 【一般公開】

### 和光市民文化センターへのアクセス

- 和光市駅まで池袋から東武東上線急行準急 13分、新宿三丁目から東京メトロ副都心線急行 22分、各停 29分
  - 和光市駅南口から 870m(徒歩約 13分)
  - 和光市駅南口からバスをご利用の場合、東武バス(西大和団地経由)「和光市役所入口」(3つ目)停留所から約200m
  - 駐車場(有料)には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
  - 駐車場は市の雨水調整池(※)を兼ねた施設です。激しい降雨時には冠水します。予めご了承のうえご利用ください。
- ※雨水調整池とは、降雨時に河川や水路の増水を抑制し、洪水を防ぐために一時的に水を貯め、時間をかけて放流する施設です。



### コンクールに関するお問い合わせ

和光市民文化センター サンアゼリア (公益財団法人和光市文化振興公社)

〒351-0192 埼玉県和光市広沢1-5 TEL 048-468-7771



日本を代表する童謡詩人 清水かつら(本名 桂)は、明治 31 年(1898 年) 7 月 1 日に東京都本所小名木(現在の深川)で生まれました。子どもの頃から文学に深い興味と優れた理解力があり、商業学校を卒業後、出版社に入社、少女雑誌「少女号」の編集に携わりました。「少女号」の編集者は、かつらのほかに「浜千鳥」や「金魚のひるね」を作詞した鹿島鳴秋、後に剣豪作家となる山手樹一郎がいました。ここでは編集者も原稿を書いていたので、かつらは子どもの頃に見た和光市新倉や白子、板橋区成増の田園風景、自分自身の心境などを題材にした童謡を次々に発表し、弘田龍太郎や草川信の作曲を得て、大正から昭和そして平成の時代まで歌い継がれる名作を残しました。

大正 12 年(1923 年)の関東大震災で家屋・家財を失ったかつらは、母の実家のある新倉村(現和光市)に身を寄せ、その後、白子村に移り住むことになりました。

昭和 26 年(1951 年)7 月 4 日、病気でこの世を去るまで、この地で武蔵野の自然と子どもの純真さを愛して作詞した数々の童謡は、多くの人々に親しまれています。



清水かつら Shimizu Katsura (1898 ~ 1951)

本コンクールは平成 10 年（1998 年）に、和光市ゆかりの童謡詩人・清水かつら生誕 100 年記念事業として開催した、『全国「叱られて」歌唱コンクール』の後継事業です。

第 15 回目のコンクールより、名称を『清水かつら記念 日本歌曲歌唱コンクール』と改称し、正しい発声と美しい日本語による歌唱法の振興および、清水かつらの詩人としての心を受け継ぐとともに、和光市民文化センター サンゼリアより発信する日本の歌の振興に資するコンクールとして開催しております。

#### 【清水かつら】について

清水かつらは、大正 12 年の関東大震災で家屋・家財をすべて焼失したため、継母の実家のある新倉村（現和光市）に避難後、間もなく白子村に移り、終生ここで生活しながら詩作活動に努め約 300 編に及ぶ作品を残しました。

平成 18 年度に文化庁・社団法人日本 PTA 全国協議会主催で実施された「～親から子、子から孫へ～ 親子で歌いつごう日本の歌百選」において、清水かつらの「叱られて」及び「靴が鳴る」の 2 作品が選出されています。

#### 【予選審査会】

録音された音源による予選審査です。予選合格者は本選審査会へ出場となります。

- 募集期間 2026 年 6 月 21 日（日）17：00 締切必着
- 開催日 2026 年 7 月 上旬 [非公開]
- 演奏曲等 課題曲から 1 曲選曲、自由曲 1 曲の合計 2 曲（計 7 分以内）
- 結果発表 予選審査会終了後 1 週間程度で郵送にて通知いたします。
  - (1) 予選合格者は本選審査会へ出場（12 名程度予定）。
  - (2) 本選審査会の出場順は主催者の抽選により決定します。
  - (3) 審査結果・内容についてのお問合せには一切お答えできません。予めご了承ください。

#### 【応募規定】

- ① どなたでも応募可能です。
- ② 独唱に限ります。
- ③ 伴奏はピアノに限ります。※伴奏者は自身にてご用意ください ※電子ピアノ不可
- ④ 1 人 1 応募に限ります。
- ⑤ 審査用音源を下記の形式で提出してください。

データ形式：代表的な音声ファイル形式のみ。WAVE・AIFF・MP3・AAC・FLAC  
※上記フォーマット以外での録音で、再生が不可能な場合は失格となることがあります。  
なお、その場合でも審査料の返金は出来ませんので充分にご注意ください。

記録媒体：CD-R・USB メモリ・SD カードまたはメールへの添付としてください。（CD-RW 等不可）  
※データが大きく、メール添付が不可能な場合は、ファイル転送サービス等にアップロードいただき、ダウンロードリンクをお知らせいただくことで可能です。
- ⑥ 録音データの加工、修正禁止です。※効果が認められると主催者が判断した場合は失格となる場合もあります。
- ⑦ 応募データの歌唱録音は 2026 年 1 月 1 日以降に録音されたものに限ります。
- ⑧ 応募データは、課題曲の中から 1 曲、自由曲 1 曲、計 2 曲の演奏を録音してください。
- ⑨ 応募データは、1 曲目に課題曲、2 曲目に自由曲の順番としてください。
- ⑩ 応募データは、演奏以外の収録不可。※氏名、曲名、挨拶等の録音はしないでください。
- ⑪ 応募されたメディアの返却はいたしませんので予めご了承ください。

#### 【応募方法】

- ① 参加申込書と演奏を録音したデータを下記まで送付してください。

郵送の場合・・・〒351-0192 埼玉県和光市広沢 1-5 公益財団法人和光市文化振興公社  
清水かつら記念 第 21 回 日本歌曲 歌唱コンクール係

メール添付の場合・・・メールアドレス： shimizukatsura@sunazalea.or.jp  
件名： 清水かつら記念 第 21 回 日本歌曲 歌唱コンクール係
- ② 予選審査会参加料を参加申込書に記載した参加者の氏名で下記口座にお振込みください。お振込みの確認ができた時点で参加の受付とさせていただきます。なお、お振込みにかかる手数料はご負担くださいますようお願いいたします。

予選審査会参加料 4,000 円 ※参加料はいかなる理由があっても返還できませんので予めご了承ください。

参加料お振込口座 埼玉りそな銀行 和光支店 普通 3761813 公益財団法人和光市文化振興公社  
(ザイ) ワコウシブンカシンコウコウシャ

#### 【本選審査会】

予選審査会合格者による本選審査会です。和光市民文化センター サンアゼリア 大ホールにおいて演奏していただきます。

- 開催日 2026 年 8 月 22 日（土）開演 13：00
- 演奏曲等 予選と同曲／計 7 分以内（課題曲から 1 曲選曲、自由曲 1 曲の計 2 曲）
  - (1) 制限時間を超えた場合は演奏を停止させていただく場合があります。
  - (2) 使用ピアノ スタインウェイ D-274（調律 442Hz／半開）
- 本選審査会参加料 12,000 円  
※本選審査会参加料のお振込みにつきましては予選審査通過後に本選審査会出場者にご案内いたします。
- 各賞・賞金等

[第 1 位]	1 名	賞金 30 万円・賞状授与・盾・和光市文化振興公社主催事業への出演依頼
[第 2 位]	1 名	賞金 5 万円・賞状授与・盾・和光市文化振興公社主催事業への出演依頼
[第 3 位]	1 名	賞金 3 万円・賞状授与・盾・和光市文化振興公社主催事業への出演依頼
[入 賞]	若干名	賞状授与
[審査員特別賞]	1 名	賞状授与
[オーディエンス賞]	1 名	賞状授与・盾

#### ■ 各賞発表・表彰式

- (1) 各賞の発表・表彰式は 8 月 22 日（土）（本選審査会当日）17：00 頃～を予定しております。  
※プログラムの進行上、時間が多少前後する場合があります。予めご了承ください。
- (2) 各賞受賞者は表彰式終了後に舞台上にて記念撮影があります。

#### ■ 本選出場にあたっての諸注意

- (1) 本選出場者は各自でピアノ伴奏者（譜めくり含む）のご用意をお願いします。
- (2) 当コンクール出場のために必要な旅費、宿泊費、食費、その他一切の経費は出場者のご負担となります。

#### ■ 本選審査会は、一般公開（入場無料）です。

#### 【審査員】

審査員長	郡 愛子	声楽家／日本オペラ振興会 常務理事・総監督
審査副員長	古澤 泉	声楽家
	水野賢司	声楽家／元東京音楽大学教授
審 査 員	小畑朱実	声楽家／東京二期会／武蔵野音楽大学教授
	若松 敏	作曲家
	本宮寛子	声楽家／日本オペラ振興会／日本歌曲振興波の会 会長
	坂本和彦	指揮者／日本オペラ振興会
	佐藤美枝子	声楽家／日本オペラ協会／藤原歌劇団／武蔵野音楽大学教授
	江原啓之	作家／声楽家／日本オペラ振興会 常務理事／日本演奏連盟

#### 【その他】

- ご提出いただいた個人情報は本事業に関わる事項のみに利用し、個人情報保護法および当財団の要綱に基づき適切に管理されます。
- 当コンクールにマスコミ等の取材が入ることがあります。その際に撮影された映像は一般に公開されることがあります。
- 当財団が記録として撮影した映像は、広報媒体、ホームページ、新聞等に掲載される場合があります。
- 当コンクール入賞者の氏名・年齢・在住市区町村名等をマスコミ各社及び和光市民文化センターサンアゼリア ホームページにて公表いたします。
- 各賞受賞者の皆様には発表会等のイベントにご参加を呼びかける場合があります。



コンクールウェブサイト



参加申込書 (PDF)



参加申込書 (Word)